

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	解剖生理Ⅱ 1単位 30時間 (脳神経・眼科・耳鼻科・運動器・泌尿器・生殖器)		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	鈴木康弘・大岩和博・武林悟・小倉跡夢 福島・太田肇・佐藤亜理奈	実務経験	有
<p>&lt;科目のねらい&gt; 病気で苦しむ人々を救う医療行為には、人体へのさまざまな介入が含まれる。人体の構造と機能についての正確な理解がなければ、その医療行為そのものが害悪をもたらすことになりかねない。解剖と生理学についての十分な理解なしでは現代の医療はなりたない。</p> <p>&lt;到達目標&gt; 1. 正常な身体の形態と働きについて基礎的な知識を習得する。 2. 器官相互のつながりや身体全体の調和がどのように維持されているのかを理解する。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 神経系の構造と機能	講義 (鈴木)	
2回目	2) 脊髄と脳	講義 (鈴木)	
3回目	3) 脊髄神経	講義 (鈴木)	
4回目	4) 脳神経	講義 (鈴木)	
5回目	5) 伝導路	講義 (鈴木)	
6回目	1. 目の構造と視覚	講義 (大岩)	
7回目	1. 耳の構造と聴覚・平衡覚	講義 (武林)	
8回目	1. 身体の支持と運動 (骨・筋系) 1) 骨格とはどのようなものか 2) 骨の連結	講義 (小倉)	
9回目	3) 骨格筋 4) 体幹と骨格と筋	講義 (小倉)	
10回目	5) 上肢の骨格と筋	講義 (小倉)	
11回目	6) 下肢の骨格と筋	講義 (小倉)	
12回目	7) 頭頸部の骨格と筋	講義 (小倉)	
13回目	1. 尿の生成 (泌尿器系) 1) 排尿器 2) 尿の生成 3) 男性生殖器	講義 (福島・手束)	
14回目	1. 生殖・発生のしくみ (生殖系) 1) 女性生殖器 (生理周期・ホルモン)	講義 (佐藤)	
15回目	2) 受精と胎児の発生 (細胞分裂・染色体)	講義 (太田)	
評価方法	終了試験 (筆記 100%) 鈴木 (30%) 大岩 (10%) 武林 (10%) 小倉 (30%) 福島 (10%) 太田・佐藤 (10%)		
受講生に対するメッセージ	1単位 30時間の科目である。学習期間は、長く複数の講師によるオムニバス形式の講義体系となります。よって、各講師の講義内容を理解することが求められます。事前事後学習を行って十分な理解ができるよう取り組んでほしいです。 尚、講師の都合により、講義順番が多少ずれることがあります。掲載の回数目とはずれることがあります。		
テキスト	系統別看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 医学書院		
参考書			

